

函 農 水

令和6年(2024年)11月11日

経済建設常任委員会 委員各位

農 林 水 産 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記資料を参考配付いたします。

記

今後のキングサーモン海面養殖試験について

(農林水産部漁業活性化対策担当 21-3339)

今後のキングサーモン海面養殖試験について

1 経 緯

国の地方大学・地域産業創生交付金を活用した、キングサーモン完全養殖技術研究事業につきましては、当初、本年11月からキングサーモン海面養殖試験の実施を予定していたところですが、これまで使用してきた浮沈式生け簀の金網に亀裂が発生したことから、海面養殖試験で使用する生け簀の運用や網の素材等について、関係者間で協議を進めてきたところです。この度、函館市、北海道大学大学院水産科学研究院および函館国際水産・海洋都市推進機構などで構成される令和6年度第3回「事業運営会議」における協議結果を踏まえ、今後については、下記により進めることとします。

2 今後の方針

(1) 大森浜海域における海面養殖試験の延期

当該海域に設置する生け簀については、常時浮体での運用や網の素材を金属から化学繊維へ変更することを基本に、当該海域における耐久性や規模などを考慮したものを選定したうえで製作することとする。

このため、関係者間での協議の継続や生け簀の製作期間など一定の期間が必要であり、今年度の大森浜海域におけるキングサーモン海面養殖試験は実施しないこととする。

(2) 今後の海面養殖試験の実施

今年度は、外海に比べて静穏な海域であり、また、函館市漁業協同組合の函館サーモン養殖部会が実施しているトラウトサーモン試験養殖において、良好な成育が認められた函館漁港内においてキングサーモン海面養殖試験を実施する。

3 函館漁港内での海面養殖試験の概要

- (1) 実施形態：函館市から「キングサーモン完全養殖技術研究業務」を受託する北海道大学が函館市漁業協同組合へ委託
- (2) 期間：令和6年12月中旬から令和7年6月下旬（予定）
- (3) 使用生け簀：函館市漁業協同組合が所有する生け簀を使用
 - ・サイズ 5 m×5 m×3 m
 - ・生け簀網素材 化学繊維
- (4) 投入尾数：100尾程度（キングサーモン人工種苗）
- (5) 試験内容：養殖試験における成長および加工特性の解析など
- (6) 所要手続き：漁港漁場整備法に基づく漁港の占用許可および「公共水面における漁業権に基づく必要のない養殖試験の取扱要領」に基づく養殖試験承認の取得